マップ No.6

西播磨の山城

NISHIHARIMA MOUNTAIN CASTLE

たていわじょう

楯岩城

太子町

120min.（往復）

見どころポイント（山城ピクトグラム）

竪堀（たてぼり）　土塁（どるい）

標高	約250m
体力度	★★☆☆☆
技術度	★★★☆☆
対象	初・中級者
駐車場	あり。バス駐車不可
トイレ	あり（登山口の若王子神社）
備考	車両侵入後、必ず獣害防止柵を閉めてください。

楯岩城の詳細はコチラ！
山城に登っている動画もcheck

【観光案内】太子町観光協会　TEL.079-277-2566

概 要

主な城主：赤松則弘、赤松貞村
標　　高：約250m
形　　態：中世の山城

楯岩城は、太子町の市街地に近い標高250メートルの城山に築かれた山城です。室町時代から戦国時代の頃の山城で、眼下に山陽道を望む重要な地点にあります。巨石が楯のように並んでいることからその名が付いたといわれています。
現在テレビ塔の立つ場所が本丸跡、北西に延びる屋根上に二の丸、三の丸がある大規模な山城であったともいわれています。

【歴 史】

江戸時代の地誌『播磨鑑』によると、城主は赤松刑部少輔則弘（ぎょうぶしょうゆうのりひろ）で、嫡子次郎泰秀が相続し、嘉吉（かきつ）の頃に伊豆守（いずみのかみ）貞村が移り住み、嘉吉元年（1441年）の城山合戦で武功を立てました。その嫡子彦五郎教貞、次に兵部少輔範行（ひょうぶしょうゆうのりゆき）、次に左馬介元軌（さまのすけもとあつ）、そして次郎太郎左馬介元助まで五代続き、天正年中まで栄え、幕下の諸家中が近隣に住んでいました。
永正18年（1521年）の播磨国守護・赤松義村と守護代・浦上村宗の争いでは、緊迫した様子が『鵤庄引付（いかるがのしょうひきつけ）』に記されています。
羽柴秀吉が播磨国を治めるようになって廃城になりました。

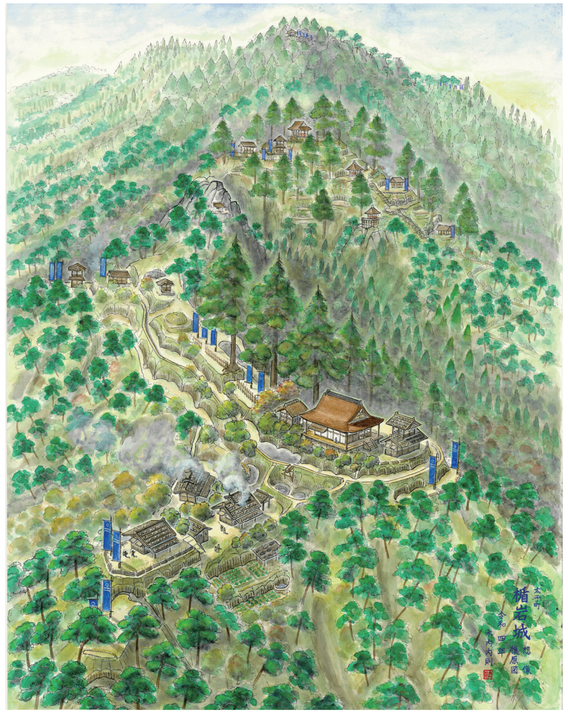
発行：兵庫県西播磨県民局 県民躍動室 地域振興課
〒678-1205　兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25　TEL 0791-57-2144

LET'S GO YAMAJIRO

管内の主な山城

2026年6月改訂

復原図



（中世城郭研究家 木内内則）

登山口までのアクセス

電車の場合
JR姫路駅 ― JR山陽本線約12分 ― JR網干駅 ― タクシーで約15分 → 楯岩城登山口

車の場合
山陽自動車道『龍野IC』 ― 約15分 ― 若王子神社駐車場 → 楯岩城登山口
※バス駐車不可

車の場合
姫路西バイパス『上太田ランプ』 ― 約5分 ― 若王子神社駐車場 → 楯岩城登山口

※道に迷わないように色付き紐を目印に登山・下山してください。

登山の装備と持ち物チェックリスト（一例）

基本的な登山の服装や絶対に必要な持ち物のチェックリストを作成しましたので、最後のチェックにお役立てください。

- ☐ タオル
- ☐ ゴミ袋
- ☐ 雨具（カッパ等）
- ☐ 着替用肌着
- ☐ 虫除けスプレー
- ☐ 水・飲料
- ☐ 登山用ステッキ

西播磨の山城御城印

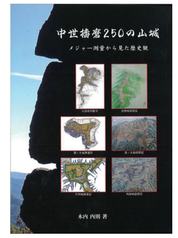
西播磨の山城イレブンの御城印を販売しています。佐用町の伝統産業である「皆田和紙」を使用した御城印もあります。

山城グッズ紹介一覧はこちら

在庫状況については各店にお問合せください
デザイン等、予告なく変更になる場合があります。

書籍「中世播磨250の山城」メジャー測量から見た歴史観

中世城郭研究家の木内内則（きうちただのり）氏が播磨の山城300箇所以上に登りメジャーで測量した結果をもとに、縄張り図や建物の復原図を描かれたものを掲載した山城マニア垂涎の図書。2018年に出版された内容に、西播磨の山城復活プロジェクトのために新たに描いた利神城（りかんじょう）、篠ノ丸城（ささのまるじょう）の想像復原図などが追加掲載された改訂版。



西播磨ツーリズム振興協議会

西播磨の山城　西播磨遊記　Instagram　X　You Tube

⚠山で出会う危険なもの

山登りの事前に知識を身につけて予防できることと、対応を一部ご紹介します。

⚠ヤマビル（6月～9月は特に注意）

- 肌の露出を避け、忌避剤（イカリジン・ディート等）を使用しましょう。
- 咬まれた時は吸盤を爪でこそぎ取り、傷口を指先でつまんでヒルの唾液成分を絞り出し洗い流します。
- 虫刺され軟膏等を塗布して絆創膏を貼ります。
- 吸血したヤマビルは産卵して増えるので必ずその場で退治しましょう。

⚠スズメバチ（7月～10月は特に注意）

- 攻撃的で強い毒を持ち、山で出会う病害虫で最も危険度が高い生物です。
- スズメバチを誘因しやすい黒っぽい服装や香水、ヘアスプレーは避けましょう。
- 刺されたときは、その場からすぐに離れて流水で傷口を洗い流しましょう。下山後は医療機関を受診し手当を受けましょう。

⚠毒蛇（マムシ・ヤマカガシ）

- 藪や茂みに入らない。
- 咬まれたら患部付近を縛り、速やかに医療機関を受診しましょう。

⚠マダニ

- マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などの感染症に感染する危険があります。
- 肌の露出を避け、忌避剤（イカリジン・ディート等）を使用しましょう。
- 咬まれた時は自分で除去せず医療機関（皮膚科等）を受診しましょう。
- ダニが媒介する感染症は死亡例もあります。咬まれた時は数週間は様子を見て、発熱等あれば必ず医療機関を受診しましょう。

⚠クマ

- クマよけの鈴やラジオを携帯するなど、こちらの存在をクマに気づかせるようにしましょう。
- 大抵の場合はクマのほうから避けてくれますが、もし出くわしてしまった場合は、クマの目を見ながらゆっくりと後ずさりして距離を取り、絶対に背中を見せて逃げないようにしましょう。
- 子連れのクマは大変危険です。見かけても絶対に近寄らないように！

⚠毒キノコ

- 誤って毒キノコを食べ、食中毒を起こす事例が後を絶ちません。
- 外見で毒キノコと食用キノコを判別することは非常に困難です。
- 山でキノコは採らない、食べない！を徹底しましょう。

テングタケ
食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。

ドクツルタケ
日本で見られる中では最も危険な部類の毒キノコ。誤って食べると、死亡することもある恐ろしいキノコです。

毒キノコ4原則
原則1 採らない！
原則2 食べない！
原則3 売らない！
原則4 人にあげない！